2025 年 5 月 14 日

各　位

株式会社　鳥取銀行

「脱炭素先行地域」の選定について

株式会社 鳥取銀行（頭取 入江 到）は、倉吉市（市長 広田 一恭）ならびに関係事業者とともに環境省が募集した「脱炭素先行地域（第 6 回）」に共同提案を行い、令和 7 年 5 月 9 日に選定されましたのでお知らせします。

今回の提案では、集落規模に応じた営農型太陽光発電の展開により、耕作放棄地の解消と売電・健康茶の原料販売に伴う収益増加を実現し、地域経済の活性化を図ります。また、官民連携により中山間地域に不足する電気保安人材の確保、新たに売電収入を生み出すことで農家の安定的な経営に寄与し、営農型太陽光で栽培可能な新しい地場産品の研究等により農業の維持をサポートします。

当行では、脱炭素先行地域における各種取組に関与することで、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

事業概要

事　業　名	グリーンエネルギーがつむぐ東大山（だいせん）コミュニティ ～地域内経済循環システムによる集落・農業の強靭化～
主たる提案者	・倉吉市
共同提案者	・北栄町　・琴浦町 ・鳥取県　・株式会社鳥取みらい電力 ・株式会社鳥取銀行　・京葉ガスエナジーソリューション株式会社 ・鳥取中央農業協同組合　・鳥取県中部森林組合 ・大山乳業農業協同組合　・大倉土地改良区 ・大栄町土地改良区　・倉吉商工会議所 ・琴浦町商工会　・北栄町商工会 ・株式会社ゼンヤクノー　・株式会社エナテクス ・株式会社ハヤブサ　（提案書記載順）
計画期間	2025 年度～2030 年度
主な取組	・1 市 2 町主導で非営利型一般社団法人を設立、耕作放棄地を活用したどくだみを栽培する営農型太陽光発電設備の導入、集会施設や住民へ再エネ電力を供給 ・小水力発電設備の導入、オフサイト・オンサイト太陽光設備の導入 ・木質バイオマス熱供給設備の導入 ・どくだみ以外の栽培可能な地場産品の研究・人材育成、電気保安人材の育成を実施

以　上

【本件に関するお問い合せ先】
企画開発部（田中、太田）・経営統括部（片寄）
TEL 0857-37-0290・0260

【ご参考】

【脱炭素先行地域について】

脱炭素先行地域とは、2050 年カーボンニュートラルに向けて、民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴う CO2 排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかの温室効果ガス排出削減についても、我が国全体の 2030 年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域で、「実行の脱炭素ドミノ」のモデルとなります。

国の「地域脱炭素ロードマップ」では、少なくとも 100 か所の脱炭素先行地域で、地域特性等に応じた先行的な取組実施の道筋をつけ、これにより、農山漁村、離島、都市部の街区など多様な地域において、地域課題を同時解決し、住民の暮らしの質の向上を実現しながら脱炭素に向かう取組の方向性を示すこととしています。

選定された取組には、地域脱炭素移行・再エネ推進交付金等が交付されます。

脱炭素先行地域

※参照「脱炭素先行地域づくり支援サイト」：https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/preceding-region/